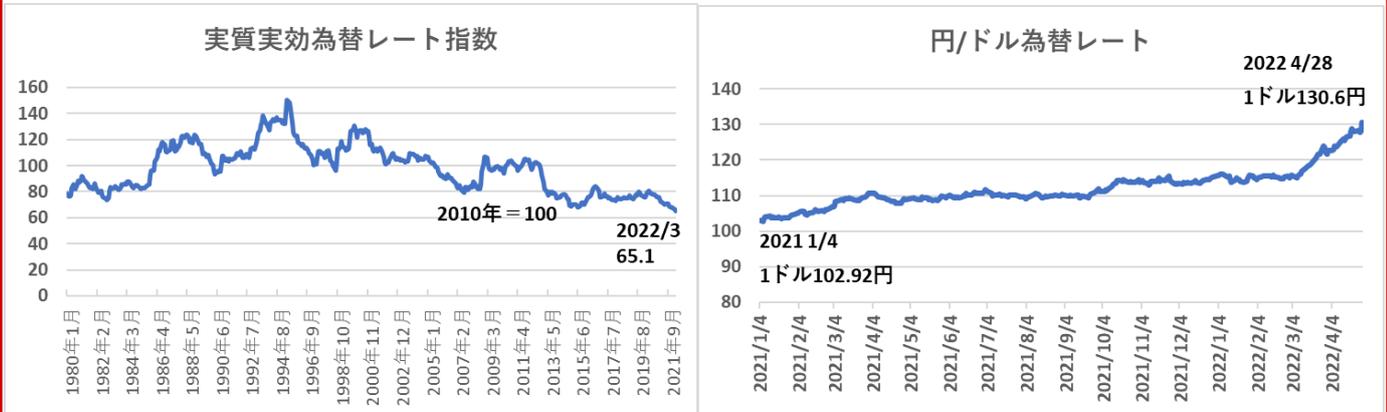


ATTENTION

円安はこれが原因-つけがいよいよ回ってきた！



円が4月終わりに、ついに1ドル130円を超え、20年ぶりの円安水準となりました。130円台が定着し、市場では140円、150円も視野に入るとい見方も出ています。2021年初めから、なんと26.9%の円安。それまでは円高に苦しめられていたのに、為替というのはわからないというのが実感です。昨年来、米国株に投資していれば、この円安の恩恵は一身に受けていることになります。その間米国株は好調に推移し、日本からの投資がかなり増えましたが、円安でさらに投資成果は増えた形です。さて、それにしても急速に進む円安。円の実力を示す「実質実効為替レート」はグラフの通り1980年来最低水準を更新しています。実は日銀が統計を取り出した1970年から、50年来の安い水準にあります。この水準を見ると、いまの円安もかなり説明ができます。どうしてここまで落ちてきたか。私は、金融政策などテクニカルな要因よりもっと深く、日本の国力の衰えに原因があると見ています。人口が減り続け、これから何十年と減り続ける、国の借金残高は増え続け、返せないであろう危機的水準にあり、1990年代から求められている規制改革は遅々として進まず、賃金は上がらず、他の先進国との差は広がるばかり、企業の国際競争力は台湾、韓国の後塵を拝すまでになっています。いわばこの30年間、改革努力を怠り、のうのうと過ごしてきたつけが回ってきているということです。いい思いをしてきたのは、既得権益を決して手放さない企業、団体。官僚や政治家は表向き、ただやっているふりをしているだけで、結果はいつも伴わず、責任も取られません。国民はこれから、ますます日本の将来に警戒を強める必要があるでしょう。

COLUMN

「さっき何やってたっけ？」にどう対処

仕事をしていて、他のことに目をそらすと、今やっていたことを忘れてしまうことがあります。「ど忘れ」です。いつもよく会う人でも、ついに名前が出ないまま、会話が終わってしまうこともあります。別れた後思い出しても、後の祭り。昨今のようにテレワークを強いられ、人と会うのも遠慮するような中では、脳は変化への対応で大わらわ、反応速度が遅くなり、それが記憶力を衰えさせます。積み重なったストレスは注意力を散漫にし、溢れる情報も、頭脳を混乱させます。こういう時に、ど忘れが起きます。20歳頃が記憶力のピークで、60歳頃からはっきり記憶力は落ちるという研究もあります。どうしたら、記憶力を保ち、高められるか。最新の研究成果をお見せしましょう。

- 無理に覚えておこうとしない。かえってストレスが溜まり、記憶力が衰える。
- いろんなことを掛け持ちでやることを止める。二つのことを同時にやりながら、何かを思い出したり、覚えようとしたりは難しい。一度には一つのことだけをやるようにする。
- 脳を穏やかにしておく。日々の瞑想、ヨガ、折に触れての深呼吸。自然の中の散歩。仲のいい人と付き合う。穏やかで安心できる環境にいる。
- 人と話すとき注意を集中する。こうすることで自分が何を言おうとしているかをよく思い出せる。
スマホを置きましょう！TVを消しましょう！相手の話をよく聞きましょう！会話には意図をもって臨みましょう！深い結びつきがなければどうして覚えていられるでしょう。（情報ソース：米WSJ）

MARKET

	(4月末)	(3月末比)
日経平均	26,847.90円	-973.50円 (-3.50%)
NYダウ	32,977.21ドル	-1,701.14ドル (-4.91%)
米ドル	129.90円	+8.15円 (+6.69%)

私の書棚より

最高の教育を受けた人間も、その後の自己陶冶を怠っては、立派な人間には成り得ない。人間もやはり、焼きをいれなければ、ものになりません。

- 安岡正篤

バフェット率いるバークシャー・ハサウェイの株主総会に行ってきた！

今年の株主総会は、バフェットの地元、米国ネブラスカ州オマハでの3年ぶりのリアル株主総会でした。2020年は、いつもと同じ場所でのバフェット一人だけのオンライン株主総会、2021年は、バフェットが、盟友マンガーがいるロサンゼルスに行つての、これまたオンライン総会。今回は、やっとバフェットが待ちに待ったリアルの株主総会となりました。長年のバークシャー株主も、この形を待ち望んでいたのですが、何を隠そう、もっとも待ち望んでいたのは、バフェットその人なのです。

娘のスージーは、株主総会は父にとって酸素のように大事なものと周りに言っていたのですが、つい最近バフェットから訂正されたそうです。「ただ酸素ではない。リアルの株主総会は私への血液供給なのだ。」この言葉から、いかにバフェットが株主を大切に思つて、じかに会いたがっているのかがわかります。バフェットは1株50万ドル以上もするA株を持つ株主も、1株300数十ドルのB株の株主も、全く同じ株主として扱います。そして情報の公平さを徹底するため、アナリスト説明会を行わず、特定の株主とも会わず、バフェットが株主と直接会い、話す機会は、実に、この株主総会しかないのです。

バフェット91歳、60年来のパートナーでバークシャー副会長のマンガー98歳が、広いオーデトリウムの上で5時間以上にわたり、ぶっつけ本番で株主からの質問に答える光景は、めったに見られるものではありません。その長い時間、居眠りしている人は見当たらず、まさに

バフェット、マンガーと株主が一体となっているという感があります。この雰囲気は、この場にはないとなかなか実感できないでしょう。私は、2014年から連続6回、今年を入れると、すでに7回この総会に出席していますが、その充実感は回を重ねるごとに深まっています。まさにバフェットとマンガーに感謝です。

バフェットは10兆円を超える大富豪ですが、そのお金を持っていることを少しも気にかけることなく、いわば人生を大いに楽しんでいるという印象です。この財産はすべて寄付します。98歳のマンガーはとてもその齢には見えず、80代前半と見るのがぴったりです。それも、やはり人生を幸せに生きているからのことでしょう。我々が、この二人から学ぶべきことは、お金をつくる方法ではなく、幸せな人生をいかに送れるかということなのでしょう。そしてそれは、いかにしたら社会に最も貢献できるかということにつながってくると思います。社会に貢献するためには、正直、清廉、謙虚で、勤勉であり、あらゆる知識を吸収しようとする探求心が必要なことを、この二人を見ていると感じます。そして社会に貢献できれば、それだけでは終わりません。その恩恵が、自分に返ってくるということです。そして、そうなったこの二人が、いまわれわれの前にいるのです。

来年もオマハで、バフェット、マンガー2人そろった株主総会が開かれるのが、楽しみです！

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男
公認投資助言者 (RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp